

# 市議会だより



平成30年7月2日 プール遊び・水遊び（一関市立川崎保育園）

● 6月定例会報告	2～5	● 特別委員会活動報告	20
● 一般質問	6～15	● 政務活動費収支報告	21～22
● 常任委員会活動報告	16～17	● 市民の声・議員表彰	23
● 市民と議員の懇談会報告	18～19		



第66回市議会定例会(6月定例会)

●一関市民俗資料館 平成30年11月大東町渋民に設置  
●平成30年度一般会計補正予算  
畜産競争力強化整備事業費補助金 6億6889万円  
などを追加



第66回一関市議会定例会を平成30年6月12日から6月22日まで11日間の会期で開催しました。この定例会では、条例の制定や平成30年度一般会計補正予算など23件の議案が出され、「二政会」の小野寺道雄、「日本共産党一関市議団」の藤野秋男、岡田もとみ、「希望」の金野盛志、岩淵善朗、「清和会」の千田恭平、勝浦伸行、沼倉憲二、「一関市議会公明党」の岩淵優、「会派に属さない議員」の武田ユキ子が質疑を行い、全て原案のとおり可決、同意しました。委員会発議で1件の決議書が出され、原案のとおり可決、また議員発議では4件の意見書が出され、3件を原案のとおり可決、1件を否決しました。一般質問には、17人の議員が登壇し、市政課題について活発な議論を交わしました。

議案審査

審査した主な案件は次のとおりです。

条例の制定・改正

○議案第44号 一関市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減の対象となる世帯の所得額の基準を改めようとするもの。

○議案第45号 一関市市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部を改正する法律が平成30年3月31日に公布されたこと

に伴い、土地に係る固定資産税の特例措置を4月1日以後も適用するため、一関市市税条例の一部を改正する条例を専決処分したものの。  
(賛成満場により承認)

○議案第46号 一関市市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の改正に伴い、個人市民税の給与所得控除、基礎控除等の見直し、生産性向上特別措置法の規定に基づく、生産設備等に係る固定資産税の課税標準の特例措置の追加、市たばこ税の税率の引き上げなど、所要の改正をしようとするもの。

○議案第44号 一関市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令等の改正に伴い、国民健康保険税の軽減の対象となる世帯の所得額の基準を改めようとするもの。

○議案第45号 一関市市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部を改正する法律が平成30年3月31日に公布されたこと

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

厚生労働省令の改正に伴い、放課後児童健全育成事業に従事する放課後児童支援員の資格について対象を拡大するなど、所要の改正をしようとするもの。

○議案第48号 一関市特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

就学前の子供に関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、認定こども園について規定する条文の項の番号が変更されたため、引用条項の整理をしようとするもの。

○議案第49号 一関市室根地域情報発信施設条例を廃止する条例の制定について

室根農林水産物産地直売・交流促進施設の開設に伴い、室根地域情報発信施設を廃止しようとするもの。

○議案第50号 一関市景観まちづくり条例の一部を改正する条例の制定について

一関市景観計画において、世界遺産平泉の価値を保護するため、その構成資産から見える山並みの景観を保全する、景観形成重点地区を新たに指定することに伴い、建築行為などの届け出要件の追加など、所要の改正をしようとするもの。

○議案第51号 一関市民俗資料館条例の制定について

本市の民俗資料等を保存し、その活用を図り、もって市民の文化の向上に資するため、民俗資料館を設置しようとするもの。

○議案第52号 平成30年度補正予算

この設置目的、基本的理念、常設展の基本的テーマは何か。

○議案第53号 財産の取得

本庁に配備している凍結防止剤散布車を更新するため、平成30年4月24日に入札に付したところ、東亜リース株式会社千厩営業所が落札したので、同社から1965万6290円で取得しようとするもの。

○議案第51号 一関市民俗資料館条例の制定について

本市の民俗資料等を保存し、その活用を図り、もって市民の文化の向上に資するため、民俗資料館を設置しようとするもの。

○議案第52号 平成30年度補正予算

この設置目的、基本的理念、常設展の基本的テーマは何か。

○議案第53号 財産の取得

本庁に配備している凍結防止剤散布車を更新するため、平成30年4月24日に入札に付したところ、東亜リース株式会社千厩営業所が落札したので、同社から1965万6290円で取得しようとするもの。

○議案第51号 一関市民俗資料館条例の制定について

本市の民俗資料等を保存し、その活用を図り、もって市民の文化の向上に資するため、民俗資料館を設置しようとするもの。

○議案第52号 平成30年度補正予算

この設置目的、基本的理念、常設展の基本的テーマは何か。

○議案第53号 財産の取得

本庁に配備している凍結防止剤散布車を更新するため、平成30年4月24日に入札に付したところ、東亜リース株式会社千厩営業所が落札したので、同社から1965万6290円で取得しようとするもの。

○議案第53号 財産の取得

本庁に配備している凍結防止剤散布車を更新するため、平成30年4月24日に入札に付したところ、東亜リース株式会社千厩営業所が落札したので、同社から1965万6290円で取得しようとするもの。

○議案第54号 財産の取得

一関西消防署及び一関東消防署に配備している指揮車を更新するため、平成30年4月24日入札に付したところ、株式会社岩手総合商事が落



札したので、同社から2764万8000円で取得しようとするもの。

○議案第55号 財産の取得
消防団に配備している小型動力ポンプ積載車6台を更新するため、平成30年4月24日に入札に付したところ、株式会社古川ポンプ製作所一関支店が落札したので、同社から3518万6400円で取得しようとするもの。

○議案第56号 財産の取得
消防団員に貸与している活動服を更新するため、平成30年4月24日入札に付したところ、株式会社古川ポンプ製作所一関支店が落札したので、同社から2314万468円で取得しようとするもの。

○報告第10号 財産の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第11号 職員による自動車事故に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○請願第2号 「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充をはかるため、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願」

○請願第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

意見書

可決した意見書については関係機関へ送付しました。審議の結果は次のとおりです。

※発議：議員からの提案

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

提出者 千田 恭平
賛成者 岡田もとみ

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

提出者 武田ユキ子
賛成者 永澤 由利

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

提出者 菅野恒信
賛成者 千葉信吉

○議案第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

専決処分

○報告第10号 財産の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第11号 職員による自動車事故に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○請願第2号 「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充をはかるため、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願」

○請願第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

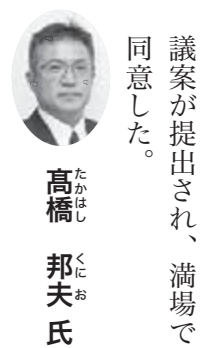
○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願



高橋 邦夫氏

意見書

可決した意見書については関係機関へ送付しました。審議の結果は次のとおりです。

※発議：議員からの提案

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

提出者 千田 恭平
賛成者 岡田もとみ

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

提出者 武田ユキ子
賛成者 永澤 由利

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

提出者 菅野恒信
賛成者 千葉信吉

○議案第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

の教育格差をなくすこと。このため2019年度政府予算編成において①計画的な教職員定数改善を推進すること②教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

提出者 武田ユキ子
賛成者 永澤 由利

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

提出者 菅野恒信
賛成者 千葉信吉

○議案第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

提出者 菅野恒信
賛成者 千葉信吉

○議案第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第57号 副市長の選任について

○報告第9号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

○報告第7号 国有地取引に関する公文書改ざんの

○議案第6号 過労死をなくし、安心して働ける労働時間規制の抜本的強化を求むる意見書について

○議案第5号 セクシュアルハラスメントの根絶に向けた法整備を求むる意見書について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第44号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書について

○請願第2号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充を図るための、2019年度政府予算に係る意見書提出の請願

○議案第47号 一関市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について



# 市政課題で活発な論戦

第66回定例会の一般質問は6月14日、15日、18日の3日間、17人の議員が登壇し、活発な議論を展開した。なお、内容については各議員の文責である。

## 6月14日(木)

岩淵 善朗 議員

- 1 少子化が進む中での教育の諸課題について

小岩 寿一 議員

- 1 農業政策について
- 2 保健福祉について
- 3 AEDの設置状況と活用について

永澤 由利 議員

- 1 新焼却場に係る市政課題について
- 2 ピロリ菌検査の今後の進め方について
- 3 加妻川の治水対策について
- 4 千厩小学校通学路の安全対策について

菅野 恒信 議員

- 1 市民の幸福向上施策について
- 2 企業撤退・雇用環境向上の対策について

門馬 功 議員

- 1 ILC (国際リニアコライダー) 誘致について
- 2 市道舗装について
- 3 子育て支援について (ひとり親世帯等調査結果を踏まえて)

武田ユキ子 議員

- 1 ICTを活用した地域包括ケアシステムについて
- 2 一関コミュニティFMについて
- 3 ふるさと納税について

## 6月15日(金)

千葉 信吉 議員

- 1 教職員の多忙化解消対策について
- 2 災害発生時避難所対策について (発生予想時含め)
- 3 放射能被害対策 (側溝土砂等含め) について

次のページから各議員の  
\*QRコードをカメラ付き携帯電話で読み取ると、一般質問の様子をご覧いただけます!

\*「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



岩淵 優 議員

- 1 高齢者福祉について
- 2 若者の移住促進について
- 3 新規就農支援について

佐藤 幸淑 議員

- 1 砂鉄川治水対策について (県管理区間)
- 2 公共工事発注 (入札) について
- 3 空き家対策について

岡田もともみ 議員

- 1 ごみ対策・焼却場問題について
- 2 動物愛護施策について

千田 恭平 議員

- 1 新千厩小学校開校後の状況について
- 2 閉校校舎の利活用について
- 3 全国都市教育長協議会について
- 4 雨水対策について
- 5 移動市長室について

那須茂一郎 議員

- 1 ごみ問題と狐禅寺地区生活環境対策協議会と交わした覚書について

## 6月18日(月)

金野 盛志 議員

- 1 公共交通政策について

佐藤敬一郎 議員

- 1 一関水泳プールの現状と市営の屋内温水プールの早期建設について
- 2 内沢川の水害防止について
- 3 金流川の河積断面の確保と水質浄化対策について

藤野 秋男 議員

- 1 公共施設等総合管理計画への対応について
- 2 焼却場による余熱の活用策について
- 3 市税等、滞納者への対応について

小山 雄幸 議員

- 1 防災指導員の活動について
- 2 室根バイパス開通後の室根地域活性化対策について

石山 健 議員

- 1 統合花泉小学校建設予定地について
- 2 農業問題について

## ○少子化の中の教育現場での諸課題について、どのように捉え、その対策は



岩淵 善朗 議員



**質問** 学校統合によりスクールバスの保有台数が急激にふえている。課題と安全対策の状況はどうか。

**回答** 運転手の高齢化や確保が問題になるが、適切な業務委託料の設定や、事故対応マニュアルの周知、運転手の健康管理表の義務づけなどを行っている。

**質問** 直営の3つの学校給食センターは今後も直営で運営するのか、業務委託の考えはないか。

**回答** 直営、委託にかかわらず運営状況は変わらない。委託計画に基づき順次民間委託をしていく。

**質問** 文部科学省では給食費の徴収業務を公会計としてガイドラインの策定をしている。望ましい会計を検討していく。

**質問** 部活動と外部指導者の配置、通学する学校に希望する部活動がない場合はどうか。

**回答** 県において配置を予定しているが検討中である。学校により14種類から4種類と大きな差があるが、部活動を理由とする区域外就学を認めていない。

**質問** 当該校に設置してある部から選択となる。

**質問** 少子化が進む中、小規模校の学習環境を最優先に将来の形を地域に示し理解を得るべきだ。

**回答** 統廃合についてはどのように考えるか。

**質問** 児童・生徒数の現状と見通しを地域に提示し、地域の話し合いの状況を見ながら、必要に応じて具体案の提示を行う。

**回答** 学習環境の整備は、将来の統合を見据え、小修繕や緊急を要する工事等を優先的に実施してきた。



雨漏りする体育館



小岩 寿一 議員



## ○農地バンクの集積状況は ○妊婦への交通費の助成は ○学校での心肺蘇生教育の現状は

**質問** 一関市における農地バンクの集積状況は。

**回答** 市の全耕地面積は約1万8200ヘクタール。そのうち農地集積バンクを活用した集積面積は2031ヘクタールで、集積率は11.2%である。

**質問** 中山間地域の集積はどのくらいなのか。

**回答** 中山間地域の面積は、1万2700ヘクタール。そのうち、担い手の集積面積が5500ヘクタールで、集積率は43.3%となっている。

**質問** 中山間地域の集積を進めるため、基盤整備事業のほかに、どのようなことを考えているのか。

**回答** 県営の経営体育成基盤整備事業、中山間地域統合整備事業のほか、小規模な基盤整備については団体営の農地耕作条件改善事業や活力ある中山間地域基盤整備事業などを進めていく。

**質問** 妊婦への交通費の助成として、タクシー券の配布などを検討する考えはないか。

**回答** 岩手県内では分娩取扱医療機関がない市町村などにおいて、妊婦の健康診査のための通院あるいは出産のための入院時



中山間地域の風景

**質問** 学校における心肺蘇生教育の現状は。

**回答** 中学校では在籍する3年間のうちに、心肺蘇生法やAEDの使用を学ぶ普通救命講習Iの講習を3時間受講している。

**質問** 学校施設におけるAEDの設置状況は。

**回答** 幼稚園に10台、小学校に35台、中学校に21台で54施設に66台を設置している。





門馬 功 議員

- I L C 誘致の今後の取り組みは
- 市道舗装の考え方は
- ひとり親世帯等調査の活用は

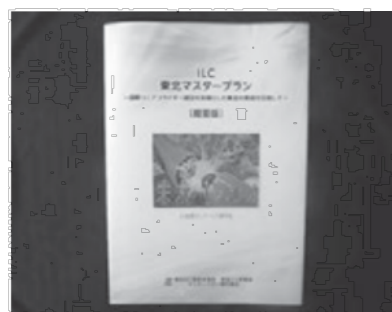


**質問** I L C の誘致については、年内に可否が判断される見通しであり、いよいよ正念場である。そうした中、誘致に尽力されている東北 I L C 推進協議会と市の今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 東北 I L C 推進協議会では、国際的経費分担交渉の支援強化と共に国民的理解の促進に向けた情報発信を行うこととしている。また、協議会に設置された東北 I L C 準備室では、I L C 東北マスタープランの策定や地下施設的设计などを進めている。今後は、政府が日本への誘致を表明した際に、直ちに受け入れ環境の整備に着手できるように、体制の見直しを行いながら活動を展開していくこととしている。市でも引き続き関係機関との連携を強化しながら、国などへの働きかけや I L C 実現を見据えたまちづくりの検討を進めてまいりたい。

**質問** 枝道の市道舗装について、舗装基準、単価を下げ、できるだけ舗装要望に応えることができるか伺う。

**答弁** 道路状況、交通量を調査し必要な強度、耐久性が得られ



I L C を契機とした新たな東北の目指す姿

ある。現時点では、家屋浸水などが懸念される内水被害が発生した場合は、国土交通省が保有する排水ポンプ車の派遣を要請することとしている。

**質問** 市道千厩病院線の小学校付近にある横断歩道への押しボタン式信号機の必要性についてその認識を伺う。

**答弁** 市道千厩病院線への信号機の設置については話題となっていることは何っており、今後現場の状況をまとめた要望を通学路安全推進会議に提出することとなる。

**質問** 冬期間の凍上を考慮した適切な厚さの路盤を整備した上で基準に基づき実施してまいりたい。

**質問** 昨年8月に実施した、ひとり親世帯等調査の結果を今後どのように活用し支援を進めていくのか伺う。

**答弁** 生活支援に関する事業について制度や手続をよく知らないとの回答が多くあったことから、まずは、周知方法を検討して周知に努めたい。また、関係機関などの意見を踏まえながら、課題解決に向けた既存事業の見直しや新たな事業展開について検討を進めていく。

- 新焼却場に係る市政課題は
- 加妻川の治水対策
- 千厩小学校の安全対策



永澤 由利 議員



**市長の所見は**  
昭和56年に一関清掃センター焼却場が稼働して37年が経過している。耐用年数を超えて稼働しているとの認識がある。焼却場建設候補地である地域は、住民の間でも賛否が分かれている現状にある。これらの状況を踏まえ市長の所見は。

**答弁** 一般廃棄物処理施設は、市民生活に密着する施設であり、施設の老朽化などの状況を考えると、これ以上先延ばしにすることはできないことから、狐禅寺地区における新たな施設について、その判断をすべき時期にきている。

6月今議会で一定のめどを立てたいと話したところで、今後の対応については、今まさに検討中。

**質問** 5月19日、市道薄衣中央1号線が北上川増水に伴う冠水で通行止めとなった。対策は。

**答弁** 北上川や千厩川の増水に伴って内水が発生しやすい地域となっており、内水被害軽減のための内水排水施設の整備については、これまでも国や県に対して要望してきているところで



市道千厩病院線の横断歩道へ押しボタン式信号機の設置を

ある。現時点では、家屋浸水などが懸念される内水被害が発生した場合は、国土交通省が保有する排水ポンプ車の派遣を要請することとしている。

**質問** 市道千厩病院線の小学校付近にある横断歩道への押しボタン式信号機の必要性についてその認識を伺う。

**答弁** 市道千厩病院線への信号機の設置については話題となっていることは何っており、今後現場の状況をまとめた要望を通学路安全推進会議に提出することとなる。



武田ユキ子 議員

- 一関コミュニティFM機能拡充はいかに
- ふるさと納税、市の取り組み状況は



**質問** 一関コミュニティFMについて専用ラジオが故障した場合の修理や購入代金はメーカーの責任の有無にかかわらず自己負担としていることは解せない。

**答弁** 既に保証期間が経過しており、経年劣化に起因する場合も使用者負担となる。

**質問** ラジオの機能を拡充し定時告知放送を付加する考えは。

**答弁** 強制的に起動させ最大音量で旧市町村のエリアごとに情報伝達できる仕組みとなっているが、音量の調節機能がない。現在は技術的に可能だが多額の費用を要するなど課題がある。

**質問** 藤沢地域には、個別端末機による告知放送や光ケーブル、藤沢ケーブルテレビ、データ放送が全世帯に整備されており他地域との格差は歴然である。不均衡は正策はいかに。

**答弁** 合併前に藤沢町が国の補助事業を充てて整備したもので、現在は国の補助が大幅に圧縮され、市内全域を対象に早急に取組むことは難しい。

**質問** 市長の考えは、また職員にどう指示しているか。



FM あすもスタジオ (なのはなプラザ4階)

**質問** 生まれ育った町や、ゆかりの地を支援したいという寄附者の気持ちを大切にすることを基本としている。

**質問** ①ふるさと納税サイトの利用は。②いただいた寄附金の使い道は。③返礼品還元率、返礼品の選出方法は。

**答弁** ①ポータルサイトを利用し返礼品の紹介やクレジット決済を可能とする。②使い道は5事業だが新たな事業も検討していく。③返礼品の金額(現行2000円)は見直しする。返礼品時期(現行年3回)は可能な限り通年とする。



菅野 恒信 議員



- 学校給食無料化・公営塾開設を
- NECは体力があり存続を求めよ

**質問** 市の「ひとり親世帯等調査」では生活保護を申請すれば受けられる低所得世帯が多い。どう受けとめているか。

**答弁** 「車を使いたくないから」「親族に知られたくないから」といった回答があり潜在的に生活保護を必要としている世帯がある。わかりやすい相談に務める。

**質問** 貧困が拡大され、給食の無料化が拡大している。当市も検討すべきでないか。

**答弁** 低所得者への学校給食費支援は、生活保護や就学援助制度がありその利用促進に努める。

**質問** 教育格差が広がっていることから公営塾がふえているが、当市でも検討すべきでないか。

**答弁** 民間塾もあり、基本は学校の授業としてすすめる。

**質問** 誘致から50年余りなるNECの撤退は大きな衝撃である。最近も250億円の利潤を上げている。撤退に対し、英断とかグローバル化の中で困があると理解を示しているが、企業の社会的責任を求めべきではないか。

**答弁** 3000人社員削減や工



頑張れNECの労働者!

場再編が発表された後、直ちに市長が本社訪問し存続や雇用の確保に努めてきた。

**質問** NECの内部留保は最新資料では幾らあるのか。

**答弁** インターネットのデータでは2017年では7200億円になっている。

**質問** 6月中は労使交渉中であり結論が出ていない中、市はI L C もあり工場跡地の利用を検討するという報道があったが交渉に水をさすものにならないか。

**答弁** 報道は一部しか書いていない。市は神経を使って対応しているので御理解願いたい。





佐藤 幸淑 議員

- 砂鉄川治水対策は
- 公共工事の発注は
- 空き家対策は



**質問** 砂鉄川の治水対策の現状について若手県から示されている立木伐採、河道掘削の計画はどのようなものか。

**答弁** 立木伐採及び河道掘削の計画については、県の治水施設整備事業5カ年計画において、平成33年度までに中通川水門付近から三菱マテリアル付近までの区間における立木の伐採と河道掘削の実施が計画に盛り込まれたところ。今後も県に対し、砂鉄川の治水対策の促進、河川環境の維持について要望を強めるとともに、河川の維持については、市内の各河川での地域の取り組みが活発になるように支援をしてまいりたい。

**質問** 公共事業は地域の皆様の役に立つように自治体が行う重要な社会資本事業だが現在の受注状況及び工事発注の平準化の現状はどうなっているか。

**答弁** 平成29年度において、発注した建設工事の契約実績は、一般入札、指名競争入札、随意契約の合計が282件で61億9000万円となっており、うち市内業者への発注件数割合は96・5%。平成30年度公共工



砂鉄川に架かる西前橋付近：早急な河川整備が望まれる

**質問** 砂鉄川の治水対策の現状について若手県から示されている立木伐採、河道掘削の計画はどのようなものか。

**答弁** 立木伐採及び河道掘削の計画については、県の治水施設整備事業5カ年計画において、平成33年度までに中通川水門付近から三菱マテリアル付近までの区間における立木の伐採と河道掘削の実施が計画に盛り込まれたところ。今後も県に対し、砂鉄川の治水対策の促進、河川環境の維持について要望を強めるとともに、河川の維持については、市内の各河川での地域の取り組みが活発になるように支援をしてまいりたい。

**質問** 空き家バンクの活用による3年間で12世帯28人の定住が図られた。今後も条件など充実させ空き家バンク制度を継続してまいりたい。なお、管理不全の空き家については引き続き情報収集を行いながら検討してまいりたい。



千葉 信吉 議員

- 教職員の多忙化解消対策を
- 災害発生時避難所対策を
- 放射能被害対策（側溝土砂含め）を



**質問** 労働時間の実態調査の状況と分析を踏まえ今後、教職員の多忙化解消に向けての実効ある具体の対策についての考えは。

**答弁** 月80時間以上の勤務超過がある教職員がいることから改善が必要と認識している。市教育委員会では平成30年2月20日付で「学校における働き方改革方針（業務改善方針）」を各小中学校長、及び市内の全保護者に示しており、教職員が勤務時間を意識した働き方となるよう、方針の周知と実行に継続して取り組んでいくこととしている。

**質問** 避難施設等の場所・管理運営の徹底とその取り組みは。

**答弁** 避難施設を指定する際、避難所の施設管理者としての避難所運営の役割について施設管理者へ説明をしている。昨年からは避難所施設管理者、市の職員それから自主防災組織等が連携した避難所運営訓練を始めている。



災害時の地域避難場所等の明確な表示

**質問** 側溝機能が損なわれている箇所の現状と今後の対策は。

**答弁** 市内で23カ所を確認している。今日まで、該当地区の住民の皆様への御理解と御協力により15カ所除去し、現在、一閑地域一つの行政区において、地元との協議により、除去および埋設保管の準備が進められている。今後も国に対して早期に基準を示すように引き続き要望していくとともに、除去が必要な箇所については行政区長などと連携を図り地区住民の皆様への御理解御協力をいただきながら進めていきたい。



岡田もともみ 議員

- ごみ減量対策と新焼却場の建設問題は
- 動物愛護施策の実施を



**質問** 市民への啓蒙活動を。市民の健康と環境を守るため、ごみの減量に努めることが自治体の責務だが、市のごみの排出量は横ばい状態が何年も続いている。この背景には、市のごみ減量目標が1人1日当たりの排出量を5年間で10%減という低い目標にあるのではないか。横浜市は住民への周知と説明により、ごみ減量42・3%削減を実現している。分別の種類をふやすため、説明会を昼夜土日問わず1万1000カ所、早朝啓発3300回等で市民の理解を広げた。当市でもごみの減量に本格的に取り組むべきではないか。

**答弁** 廃棄物の減量化には市民の御理解、御協力が必要。まずは現実的な取り組みを着実に実施する。10%削減の実現に向けて取り組んでいく。

**市長の英断を求める**

**質問** 既に50年近くも焼却場を受け入れてきた狐禅寺地区に対し、住民説明を4年以上も継続している。このこと自体、異常な市政運営ではないか。当局説明に4年以上かけても住民に理



狐禅寺の建設断念を報道した新聞各紙

**質問** 動物愛護活動に支援を。犬猫などの殺処分ゼロにするために尽力している団体等に対して、盛岡市のような「地域猫活動」事業を創設し不妊手術等の助成など、取り組みを強化すべきではないか。

**答弁** 現在協議をしている段階であり、白紙に戻すという段階ではない。

**質問** 新設農業者の呼び込みの。新設農業者への新たな支援策を行う考えはないか。

**答弁** 新規就農者から話を聞く機会があった。現場の事例の中にこそ真に有効な支援のヒントがあると考える。

現在実施している支援策以外にどのような支援が必要なのか、農業者の方々のニーズを掘り起こし、他市の取り組みも参考に検討する。

新規就農支援は、今後充実させていく分野であると認識しており、早急に具体的な対策を講じていく。



岩淵 優 議員

- フレイル予防の取り組みは
- 奨学金返還支援事業の実施は
- 新規就農支援は



**質問** フレイル予防の取り組みは。介護が必要になる手前の状態、フレイルを防ぐ取り組みが注目されている。当市のフレイル予防の取り組みは。

**答弁** 地域における介護予防、フレイル予防の取り組みを強化するため、リハビリテーション専門職の介護予防事業への関与を促進させる。また、住民主体による介護予防に取り組む団体の設立やその育成に向けて、生活支援コーディネーターを中心に引き続き取り組んでいく。

**質問** 奨学金返還支援事業の実施は。地元を離れ大学等を卒業した若者を一閑に呼び込む流れをつくると同時に、一閑にUターンし、地元で働いている若者への支援という観点から、奨学金返還支援事業を実施する考えはないか。

**答弁** 若者の地元定着を図るという観点から、奨学金の返還支援は有効な手段の一つと認識している。当市の実情に合った若者の地元定着に向けて、可能なものから事業化を図っていく。

**質問** 新規就農支援は。新規就農者の呼び込みの。新設農業者の呼び込みの。新設農業者への新たな支援策を行う考えはないか。



収穫最盛期を迎えた園芸作物

競争が激化している。市として新規就農者への新たな支援策を行う考えはないか。

**答弁** 新規就農者から話を聞く機会があった。現場の事例の中にこそ真に有効な支援のヒントがあると考える。

現在実施している支援策以外にどのような支援が必要なのか、農業者の方々のニーズを掘り起こし、他市の取り組みも参考に検討する。

新規就農支援は、今後充実させていく分野であると認識しており、早急に具体的な対策を講じていく。





千田 恭平 議員

○移動市長室の内容と成果は  
○雨水対策を問う  
○閉校校舎の利活用の状況は

**質問** 移動市長室で実施してきた内容とその成果を問う。

**回答** 平成22年以来毎年度実施し通算100回となった。市長が直接市民と話し合う機会を設ける趣旨である。

**質問** 千厩川の洪水対策は。側溝土砂対策は。

**回答** 平成25年7月の大雨による被害を受け、県では河道掘削を実施した。引き続き県の5カ年計画に基づき、国道456号の久伝橋から白山橋にかけて、緑橋上流までの区間の河道掘削を行う予定と聞いている。

**質問** 側溝土砂の除去は一時保管場所の確保に向けて、地区内で遊休地となっている市所有土地の情報を行行政区長に提供し、埋設場所を決定し除去処理するという手順を進めている。

**回答** この3月に市内7校が閉校したが、閉校校舎の利活用の状況を問う。閉校後の校舎、敷地の維持管理はどうなっているか。



閉校校舎は今後どう活用されるのだろうか

○協定書の協定より覚書が優先する  
○ごみは燃やさないで処理できないか



那須茂一郎 議員

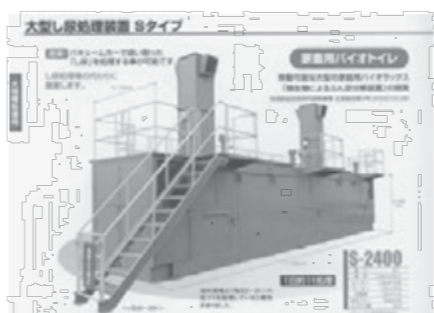
**質問** 協定書の協定より覚書が優先する

**回答** 狐禅寺地区生活環境対策協議会と平成12年に交した狐禅寺地区に焼却施設をつくりませんと覚書を守るべきではないか。日本の法律の中では覚書の解釈が優先される。この覚書がありながら、立地の調査予算を確保したり、住民に対し建設に向けた説明会を行っている。

**質問** 狐禅寺地区生活環境対策協議会と平成12年に交した狐禅寺地区に焼却施設をつくりませんと覚書を守るべきではないか。日本の法律の中では覚書の解釈が優先される。この覚書がありながら、立地の調査予算を確保したり、住民に対し建設に向けた説明会を行っている。

**質問** 生活の中でごみは出る。これらを燃やさないで処理すべきだ。燃やさないで処理している自治体もある。

**回答** 廃棄物の減量に対する啓発を今後さらに努めてまいりたいと思っているが、衛生上の観点から燃やさなければならぬ物などが予想される以上、焼却処理を全く行わないことは、住民生活に大きな支障を来すことが想定される。市としては責任ある現実的対応を行っていくべくものと考えている。



家畜用バイオトイレ

**質問** 一関水泳プール(屋外)の隣接地を屋内プール建設予定地として確保しているとのことだが、未だ建設に至っていない。屋内プールは多くの市民が気軽に年中利用できる公共体育施設である。屋内プール建設の早期実現を望む。

**質問** 金流川の河積断面の確保。河道部に土砂の堆積が著しく、さらに草木が繁茂している。また、柳などの立木も河川断面を阻害している。このことは洪水を引き起こす要因になる。早急な対策が必要と考えるが。

**回答** 一関水泳プール(屋外)は6月末から約2カ月間利用でき、過去5年間の平均利用者数は年1万5000人弱である。屋内プールは民間にもあり、環境は整っていると考えている。

**回答** 金流川は県管理の1級河川で、岩手県土木部で監視パトロールを行っている。県の計画では平成29年度から5カ年計画で河道掘削を行う予定であり、花泉小学校付近の平和橋まで河道掘削を計画している。

○公共交通政策はいかに



金野 盛志 議員

**質問** 公共交通政策はいかに

**回答** 公共交通ネットワークの形成は、利便性の向上、効率化を図り、財政も考慮しなければならぬ。

**質問** 高齢化や人口減少を踏まえ、地域交通網形成計画を策定中であるが、その重点及び進捗について伺う。

**回答** この計画は平成31年度からの5年間を計画期間として公共交通ネットワークの再構築を目的に策定するもの。市民ニーズの変化への対応や、高齢者の足の確保が最大の課題と認識している。この計画策定にあたり、市民センター単位の住民懇談会を7月末から9月に開催する予定。

**質問** 全国平均に比べ、運転免許の自主返納が低いことは、車はライフラインであるという点とあり、そのため、予約型乗り合いタクシー(デマンド)が有効と考える。デマンドの導入について、その判断のため、地域協働体に協議すべきと考えるが、また、デマンドの事例で、北上市では、地域や交通関係者との協議の結果、地域に合うデマンドを導入しており、市内同一の制度設計ではなく、柔軟な内容である。ぜひ、当市も地域に即したデマンドとしてはどうか。

**回答** 公共交通ネットワークの形成は、利便性の向上、効率化を図り、財政も考慮しなければならぬ。現在の市営バスは74路線、運行距離は1400キロメートル余で、運行経費は年間1億4000万円余となっているが、平均乗車は数人となっている。北上市の事例は、デマンド導入の上で、参考とさせていただくに値するものであり、各地での住民懇談や交通関係者との協議を重ねて、市民の足の確保に努力してまいりたい。



利用率の向上が期待される市営バス

○市営屋内温水プールの早期建設を  
○内沢川(花泉)の水害防止は  
○金流川の河積断面の確保を



佐藤敬一郎 議員

**質問** 一関水泳プール(屋外)の隣接地を屋内プール建設予定地として確保しているとのことだが、未だ建設に至っていない。屋内プールは多くの市民が気軽に年中利用できる公共体育施設である。屋内プール建設の早期実現を望む。

**質問** 金流川の河積断面の確保。河道部に土砂の堆積が著しく、さらに草木が繁茂している。また、柳などの立木も河川断面を阻害している。このことは洪水を引き起こす要因になる。早急な対策が必要と考えるが。

**回答** 一関水泳プール(屋外)は6月末から約2カ月間利用でき、過去5年間の平均利用者数は年1万5000人弱である。屋内プールは民間にもあり、環境は整っていると考えている。

**回答** 金流川は県管理の1級河川で、岩手県土木部で監視パトロールを行っている。県の計画では平成29年度から5カ年計画で河道掘削を行う予定であり、花泉小学校付近の平和橋まで河道掘削を計画している。

**質問** 内沢川(花泉)の水害防止は

**回答** 内沢川は花泉町金沢地区の河川で幾度か水害にあっており、平成25年に氾濫し、商業施設や市民の住宅などが浸水被害を受けた。市民の生命・財産を守るため早急な対応を望む。

**回答** 内沢川は有馬川との合流地点から3キロメートル区間は市が管理する準用河川となっている。平成26年に洪水危険河川の監視計画を策定し、内沢川についても危険箇所を洪水監視を実施するなどの対策を講じている。



花泉小学校付近の金流川土砂堆積状況





石山 健 議員



○ TPP11の問題点と地域農業に及ぼす影響  
○ 花泉小学校統合建設予定地の選定経過

【質問】 TPP11の問題点と地域農業に及ぼす影響について  
【質問】 TPP11の一関市農業の影響額は幾らになるか。米の直接払い交付金が廃止になり、耕作放棄地の拡大に拍車がかかっていると危惧しているが、ここ数年における離農件数はどのくらいあるか伺いたい。  
【回答】 市内農業に及ぼす影響額のうち米については、国は影響がないという試算になっている。畜産関係の影響額は、牛肉が4000万円から7000万円、豚肉が3000万円から6000万円、牛乳、乳製品が約1000万円から2000万円の減収になる見込み。農業産出額の約6割を占める畜産関係の減少と市農業経済に及ぼす影響は非常に大きいと感じている。また、年間の離農件数は、ここ5年間では148戸、一年平均で297戸減少している。花泉小学校統合建設予定地の選定経過について  
【質問】 風営法による規制の内容、風営法による学校建設用地から60メートル離す根拠は何であるか、候補地の選定経過を検討し



TPP11実施で外国産牛肉・乳製品増加で苦悩する畜産農家

た内容と選定した理由について伺う。  
【回答】 県条例で学校の周囲60メートルを制限区域としており、これ以上離すこととし、学校用地検討委員会において涌津字下原地内を候補地として選定した。その後花泉地域の7地区で住民懇談会を開催し、候補地を涌津字下原地内することに賛同を得た。12月には、学校づくり推進委員会から、涌津字下原地内を建設候補地として選定したことについて、教育委員会に提言があった。



藤野 秋男 議員

○ 施設等の管理計画は対象地域で話し合いを  
○ 焼却場の余熱活用策は見直しを

【質問】 公共施設等総合管理計画には、30年間で公共施設を30%削減する計画がある。中期計画の9年間で市民センターや行政庁舎に周辺施設の機能を取り込み、10%の縮減に取り組むとしている。しかし、農村部は対応いかんでは限界集落の危機的状況になる危険がある。その対応状況は職員体制で検討し提案するとしているが、最初は関係する市民の間で話し合うことが必要である。このような取り組みが行わなければ協働のまちづくりの基本が崩れてしまう。地元に関する行政課題はしっかりと関係市民で話し合える体制に改めるべきでないか。  
【回答】 これまで市民を対象にシンポジウムを市内3地域で各3回開催した。今後はより身近に感じられる地域に設定して対応したい。  
【質問】 資源・エネルギー循環型まちづくりビジョンを策定した背景には、化石燃料依存の脱却や二酸化炭素の排出抑制と併せ最終処分場残余容量の逼迫した課題がある。しかし目的で、一般廃棄物の焼却をエネルギー資



市が示した余熱活用のイメージ

源と捉え、活用することを示している。これでは再資源化は進まない。現存100トン以上の焼却炉を計画しているが建設には最短でも5年以上かかる。そこで、ごみの減量化資源化計画を引上げ焼却炉の規模を縮小し、余熱は場内活用策に見直すべきでないか。  
【回答】 一般廃棄物処理施設の整備に当たってはできるだけ減量化資源化を進めていく。焼却炉は、現在の120トンを105トン規模で想定している。余熱活用施設は複合的なものとし、人が集まるものとしてほしい。

会議等出席状況

4月から6月までの定例会・常任委員会・特別委員会等について出席状況をまとめたものです。数字の入っている項目が、各議員の所属している委員会です。

議員氏名	開催総日数	榎山 隆	沼倉 憲二	岩淵 典仁	佐藤 幸淑	永澤 由利	小岩 寿一	岩淵 優	武田ユキ子	那須茂一郎	門馬 功	佐々木久助	佐藤 浩	千田 良一	佐藤敬一郎	菅原 巧	岡田もとみ	菅野 恒信	千葉 信吉	金野 盛志	勝浦 伸行	小山 雄幸	千田 恭平	千葉 大作	小野寺道雄	橋本 周一	藤野 秋男	石山 健	岩淵 善朗	千葉 幸男	佐藤 雅子		
第66回定例会	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	5	4	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
総務常任委員会	4			4			4			4				0														4			4	3	
産業経済常任委員会	3				3	3						2	3		2														3	3			
建設常任委員会	3		3							3								3		3	3					2	3						
教育民生常任委員会	5							5								4	5		5				4	5	5								
議会報編集特別委員会	4			3			3			3	4	4			4			2	4														
治水対策特別委員会	2		2		2			2	2				2												2		2	2	2	2	2	2	2
放射能被害対策特別委員会	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	
放射能被害対策特別委員会幹事会	1							1	1											1										1	1		
ILC誘致・学術研究都市づくり調査特別委員会幹事会	1		1			1	1		1	1									1											1			
議員全員協議会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	2	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
議会運営委員会(議会改革)	4	4	4					4					4							4	4					4	3	4					
議会運営委員会	2	2	2					2	2	2			2							2	2				2	2	2						
市政調査会	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	

○ 防災指導員の活動は  
○ 室根バイパス開通後の室根地域活性化対策は



小山 雄幸 議員

【質問】 防災指導員とはどのような資格なのか、その役割と活動状況について伺う。  
【回答】 消防団と自主防災組織の中から率先して活動する人材を育成することを目的に消防本部が開催する講習を修了した方を認定している。役割は地域における計画的な訓練実施の立ち上げ、防災機関への届出及び協力要請、訓練実施の準備、訓練の講師として知識と技術を教授すること。活動状況は過去の2年間で17回の講習や訓練において延べ42人が指導に携わっている。  
【質問】 室根バイパスの開通に伴い、市に移管される現道の補修工事の内容について伺う。  
【回答】 側溝は損傷の著しい所に新しい側溝を入れ、流れの悪い所は底にコンクリートを打ち、勾配を調整する。歩道は損傷している境界ブロックの入れかえと舗装の修繕を行う。車道は損傷が著しい所を部分的に補修する。今後、榎木橋をボックスカルバートに入れかえる工事をする。  
【質問】 道の駅「むろね」の活動状況と課題について伺う。  
【回答】 オープンから5月末ま



予想を上回る御来場をいただきました道の駅「むろね」

での販売額は産直部門が約3980万円、食堂部門が約290万円、来客数は産直部門が3万3450人、食堂部門が3532人となっている。課題は、駐車場の限られた状況により決定的に混雑が予想されるので今後とも対応を検討する。  
【質問】 折壁商店街の振興策について伺う。  
【回答】 商店街の通りすべてをイベントなどに使う方法や道の駅と室根山に挟まれたエリアにある点を有効に使いながら商店街の今後のあり方を検討していく。



# 総務常任委員会

委員長 千葉 幸男

視察日

平成30年5月23日～25日

総務常任委員会では行政視察として、5月23日から25日までの3日間、愛知県半田市、静岡県三島市、同県牧之原市を訪問し、行政視察を実施しました。

### ●愛知県半田市

半田市の防災対策と災害時におけるマイレポ半田の活用について半田市では市民がスマートフォンで道路や施設の破損・災害状況などを撮影して市に情報提供し、市がその対応を行う「マイレポ半田」という取り組みを行っています。

### ●静岡県三島市

三島市スポーツ・文化コミッションについて

三島市ではスポーツと文化を一体と据えた活動を継続的に推進するため、官民協働による「三島市スポーツ・文化コミッション」と「みしまジュニアスポーツアカデミー」を設立し、大会の誘致やアスリートの発掘育成に取り組んでいます。



担当者から説明を受ける委員（静岡県牧之原市）

### ●静岡県牧之原市

対話による協働のまちづくりについて

牧之原市では市民との対話によるまちづくりを推進しており、市民が中心となって「牧之原市自治基本条例」や「牧之原市政への市民参加に関する条例」を制定し、「市民ファシリテーターの養成」や高校生を対象とした「地域リーダー育成プロジェクト」など、先進的な協働のまちづくりに取り組んでいます。

# 建設常任委員会

委員長 橋本 周一

視察日

平成30年5月22日～24日

### ●群馬県高崎市

空き家緊急総合対策事業について

総合窓口として建築住宅課で対応し、現状と相談内容から各部署に伝達しています。空き家の除草などの維持管理費用、空き家の解体費用、改修にかかる費用への補助などを柱に、手厚い支援を実施しています。実績状況は、解体補助が多く、全体の7割から8割を占めています。年間で約200件の空き家解消につながっています。

### ●静岡県湖西市

湖西市営住宅長寿命化計画について

これまでの、対処療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換することによって長寿命化を図ることを目的としています。市営住宅の概要は、10住宅、367戸となっており、320戸入居しています。全戸数入居するような場合は、民間からの借り上げを予定するな



富士市での行政視察

ど、住宅の確保に努めています。

### ●静岡県富士市

下水道事業における官民連携によるストックマネジメントの導入について

効率化を図ることを目的に最終処理場の民間委託を進め、現在では管路施設についても民間委託を実施しています。民間委託による最大のメリットは人件費の削減です。また、計画的な管路巡視により、臭気など苦情の原因となる点を事前に対応可能となったため、苦情件数が減っています。

# 産業経済常任委員会

委員長 佐藤 浩

### ●所管事務調査（5月15日）

「若手県の再造林をめぐる情勢について」調査を行いました。林業従事者の育成・確保、中期的な造林計画の推進など、今後の課題について、担当部から説明を受け、その後、一関地方森林組合に赴き、組合幹部の方々と林業振興などについて、意見交換を行いました。

### ●愛知県岡崎市（5月22日）

岡崎市と岡崎商工会議所の共同運営で開設している「岡崎ビジネスサポートセンター」を視察しました。衰退傾向にある中小零細企業の効果的な支援、特に売り上げ向上に特化した支援を行っており、相談者のリピート率も高いとのことです。当市においても、より中小企業に寄り添った支援体制の拡充が望まれます。

### ●岐阜県下呂市（5月23日）

馬瀬地方自然公園づくり委員会の「食と農の景勝地」の取り組みを視察しました。「日本一美味しい村の食を活かした滞在創造」「日本一美しい村の景観を活かした滞在



カーネーションハウスの視察（愛知県西尾市）

創造「インバウンドの受け入れ体制づくり」など、農泊推進事業の自立運営を進めています。

### ●愛知県西尾市（5月24日）

「農産物地域ブランド品の取り組み」を視察しました。西尾市は温暖な気候に恵まれており、花卉生産額は約40億円、カーネーションはそのうち30%の12億円強を占めています。地域ブランド品の優位性を保つため、若手経営者の勉強会や花育活動を積極的にを行っています。

# 教育民生常任委員会

委員長 千田 恭平

●5月23日から25日にかけて行政視察を実施し、群馬県伊勢崎市では空家対策、千葉県柏市では地域包括ケアシステム、愛知県春日井市では特色ある学校づくりについて研修しました。

●5月31日、常任委員会を開催しました。教育委員会からは、花泉地域統合小学校用地候補地について法令遵守・安全面などに問題がないかどうか、保健福祉部からは、成人の引きこもり実態調査、放課後児童クラブの定員、ひとり親世帯等調査結果について、また病院事業では、一関病院事業経営プランについて、それぞれ説明を受けました。

●6月12日、6月議会で常任委員会に付託された請願2件につき審査を行いました。請願第3号「千葉胤秀旧宅」の復元保存については、岩手県南史談会の大島氏より説明を受けた後、花泉町にある旧宅の現地調査の必要があることから、その後に再審査することとしました。請願第2号教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充については、紹



花泉町千葉胤秀旧宅で説明を受ける



# 市民と議員の懇談会について

平成29年度の懇談会については、先の『議会だより』にも既に掲載しておりますが、今回は、議会への意見や要望について、議会運営委員会で検討した結果を報告します。

なお、昨年度は改選期であり、開催回数が例年より少ない状況でしたが、平成30年度については、開催の時期、場所、議会よりの報告等について、現在検討しており、次回にお知らせしたいと考えております。

また、平成29年度に寄せられた意見や要望については、市当局に対しては既に提言しておりますが、その内容を踏まえて、県に対しても、市民の要望等に適切な対応を求めました。

議会運営委員会は、『議会改革』についても担っており、議員定数報酬、政務活動費等について協議中であり、一定の進捗により、市民の皆さまに報告しますので、ご意見をお寄せ下さい。

**質問** 議会、議員の役割は行政の監視である。

**回答** 議会の役割は、行政の監視と、政策立案、政策提言に取り組みことです。この役割を改めて認識の上、対応します。

**質問** 議員の視察での調査が施策に具体的に反映するように期待する。

**回答** 主に、会派及び常任委員会、市政の喫緊の課題について調査研究し、本会議や常任委員会の議員活動に生かしております。

また、各会派では当局への提言や要望に反映しております。

**質問** 議会傍聴者が少ない。市民の関心の喚起のために、事前に質問内容の周知が必要である。

**回答** 質問項目は、定例会前の議会運営委員会で決定し、新聞やホームページで公表しています。

また、一般質問については、コミュニケーションFMで後日に放送しています。傍聴者については、前回の6月議会は98名であり、今後も傍聴者の増加に努力してまいります。

いて勉強が必要である。

**回答** 安定した財政基盤が安定した市政運営につながります。

総合計画やその実施計画が市政運営の基盤であり、将来の見通しを踏まえた上で、チェック機能を果たしてまいります。

**質問** 議長が就任のインタビューで『議員定数は削減ありきではない』と述べているが、議長の立場としては、議会のなかの議論をまとめてからの発言とすべきである。

**回答** さまざまな意見を聞きながら対応します。

**質問** 夜間や休日の議会開催を。

**回答** 現在は、年4回の定例議会を開催していますが、常任委員会や特別委員会は、閉会中審査として通年活動ができるように考えています。

県内では、一年中議会を開催している通年議会を行っている自治体があり、議会改革の一環として、議会開催方法について検討しています。

**質問** 懇談会の結果について、報告をされたい。

**回答** 主な点については、次回の懇

**質問** 議会の質問の際に、事前に回答を得て、質疑を深めるようにされたい。

**回答** 現在は、質問通告は、招集日の6日前であり、その後、当局で答弁検討を行います。

事前に答弁の内容の通知は行っておりませんが、再質問を行う準備として、想定する答弁を準備しており、今後も質疑を深める努力を行います。

**質問** 懇談会開催時期、時間の設定が悪い。

**回答** 平成29年度は改選後の限られた時期であり、冬の開催になりました。平成30年度の開催については、開催場所、時間等について、議会運営委員会で決定します。

**質問** 市議会だよりの文字が小さく、読みにくい。

**回答** 限られた紙面であり、議会報編集特別委員会で創意工夫の上、今後も努力してまいります。

**質問** 懇談会について、市長へ提言しているが、その後、議会ではどのように進めているのか。

## 議会運営委員会

委員長 勝浦伸行

昨年10月の改選後、新しい議会運営委員会の活動がスタートした。新聞報道等でも大きな話題となっているが、人口減にあえぐ過疎地などで、地方自治を支える議会の存続が危ぶまれている。地方自治体は、三元代表制となっており、首長と議会議員を直接選ぶ優れた制度であり、それを活かしていくことが重要となる。首長と議会がともに住民を代表し、相互の抑制と均衡によって緊張関係が生まれ、議会は執行の監視と共に、積極的な政策提案を通して、政策決定に影響を及ぼしていく事も重要な役割となる。

今回、議会運営委員会では、当市が抱える市政課題や現状を踏まえ、議会の果たすべき役割を再検討するため、通常の委員会活動に加え、「議会改革」という大きな取り組みをスタートさせた。

最初に各会派、各議員より一関市議会として取り組むべき改革課題をあげた。当初44項目の提案があったが、内容を整理し、最終的

**回答** 市長へ提言している内容の多くは、財源措置が伴うものであり、当局では優先順位を講じて対応しているものと考えます。

また、市議会の場では、各議員がその対応を求める質問を行っています。

また、懇談における全ての要望等は、当局に報告を行っています。

**質問** 各会派での視察等は、会派でなく全議員で実施してはどうか。

**回答** 一関市議会は会派制となっており、各会派において、課題についての認識度に差異があることは必然であり、視察研究は各会派對応としています。

**質問** 年間、議員にかかる費用はいくらか。

**回答** 主なもので議員報酬は、月額、議長43万8000円、副議長38万6000円、議員36万円（28人）、政務活動費は、1人あたり月額1万5000円となっています。

**質問** 合併後、財政状況が悪化している。財政問題に対する認識が議会は希薄ではないか。財政につ

に16項目に絞り込み、検討を進めることとした。5月には先進地視察として、北上市議会に出向き、ICT化、タブレット化導入、通年議会の取り組みについて研修を行った。今後においては、災害行動指針の策定や委員会の会議録の公開など、直ちに検討すべきもの、改選1年前を目途として、議員定数、政務活動費、議員報酬等についても十分な議論を図り、検討を進めることとした。



全議員で行ったタブレット研修会の様子



# 放射能被害対策特別委員会

委員長 金野盛志

東京電力(株)福島第1原発事故の発生から7年半になりますが、当市においては、この事故に由来する未処理の事案があり、事故発生前の環境の実現に向けて、全議員で活動を行っております。

5月28日に、農林系廃棄物処理の現在の状況について、当局から説明を求め、その後、汚染牧草の混焼を実施している大東清掃センター及び、しいたけ原木の処理を実施している(有)グリーン総業(藤沢)の現地調査を行いました。

汚染牧草については、年内に終了予定であり、この間、焼却に理解を頂いた地域の方々に、深く感謝申し上げます。

議会としても、地域の公害防止協議会などのご意見を踏まえて、健診項目の追加や放射線のモニタリング等の適切な実施について提言して参りました。

しいたけ原木、落葉層、さらに、除染土壌や側溝土砂の処理、加えて、指定廃棄物処理などの課題が



処理する原木

あります。これらは、国の方針が未だに示されないことが要因となっています。

今後も、市民の安全安心の暮らしを実現するために、当局と連携し、対応して参ります。

# 平成29年度後期 政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として交付されます。

議員1人あたり月額1万5千円、後期：11月～3月分で7万5千円が会派または議員個人に支給されました。

使途基準については政務活動費運用規程により定められております。政務活動費の収支状況報告書は閲覧することができます。また、市ホームページでは領収書を公開しておりますので、自由にご覧いただけます。

- 申請窓口 一関市議会事務局(一関市役所庁舎2階)
- 閲覧期間 公開から5年間
- 閲覧時間 土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで

ご不明な点がございましたら議会事務局へお問い合わせください。

問い合わせ先 21-8604(直通)

## ●平成29年度政務活動費の収支状況(後期:11月～3月分)

会派名	人数	収入額		支出科目										支出額計 ③	政務活動費 精算額 ③-② ④	政務活動費 返還額 ①-④				
		政務活動費 補助金 ①	自己資金 ②	調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要望・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	上段:支出額 下段:支出額合計に対する割合								
一関市議会 公明党	2人	150,000	0	7,680	0	0	0	0	0	300	0	96.2	0	0	0	3.8	0	7,980	7,980	142,020
日本共産党 一関市議団	4人	300,000	27,176	0	111,114	183,937	0	0	0	5,073	27,052	0	34.0	56.2	0	1.5	8.3	327,176	300,000	0
一 政 会	9人	675,000	0	619,200	0	0	0	0	0	40,413	0	93.9	0	0	0	6.1	0	659,613	659,613	15,387
希 望	4人	300,000	19,679	313,379	0	0	0	0	0	6,300	0	98.0	0	32.5	0	2.0	0	319,679	300,000	0
清 和 会	8人	600,000	62,789	659,469	0	0	0	0	0	3,320	0	99.5	0	0	0	0.5	0	662,789	600,000	0
武田ユキ子 (無会派)	1人	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	75,000
那須茂一郎 (無会派)	1人	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	75,000
梶山 隆 (無会派)	1人	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	75,000
合 計	30人	2,250,000	109,644	1,599,728	111,114	183,937	0	0	0	55,406	27,052	80.9	5.6	9.3	0	2.8	1.4	1,977,237	1,867,593	382,407

# 治水対策特別委員会

委員長 佐藤雅子

所管事務調査日  
平成30年6月19日

一関遊水地事業及び北上川狭隘地区治水対策事業の予算及び進捗事業について、担当部より説明を受け、質疑、意見交換を行いました。

一関遊水地事業については、平成30年度の予算額が42億5000万円円で、平成29年度に比べ、2500万円の増額となっております。平成29年度までの事業の進捗状況は、事業費ベースで74・7%となっております。第一遊水地大林水門はゲート設備が完成、第二遊水地長島水門は本体工事が完成、第三遊水地舞川水門が着工したとの説明を受けました。

北上川狭隘地区治水対策事業については、予算額68億円、進捗状況は事業費ベースで68・4%となっております。砂鉄川合流点から宮城県境までの約16kmの改修事業が実施されています。

あわせて、一関遊水地事業の現地調査を行いました。大林水門の完成状況、現在整備中の長島水門



完成した大林水門

ゲート設備工事、平成29年度着工の舞川水門の工事状況、磐井川堤防整備の様子を調査しました。

また、治水事業の促進要望内容についても協議を行い、7月27日には、国土交通省東北地方整備局と岩手河川国道事務所に対し、遊水地事業の推進、一関地区かわまちづくりの事業採択など8項目について、財源確保と整備促進を図られるよう要望しました。今後は国土交通省、県選出衆・参国会議員へも要望する予定としております。



# 市民の声

ご意見等をお寄せいただき  
ましたので、ご紹介します。

## 情報社会を生きぬくために



ゆうまけ  
畑山 雄介さん  
(一関市殿美町)

近年、ライフスタイルや食事などの多様化が進んでおり、インターネットやスマートフォンの普及でそれらの専門的な知識、道具など、安易に入手できる時代になりました。田舎暮らしの中でも、それらの情報を活用することにより、生活の自由度は変わってきています。しかし、そういった環境が整っていない地域があり、生活に不便な田舎暮らしがより難しく、また、それに関するテレビやパソコンなどのデバイスの機能を十分に使用できず多様化した中では、そういった地域はどんどん取り残されてしまっています。時代に取残されたいために、もう一度、残された生活の土台となってきたのではないのでしょうか？

## 医療、地域の方々の連携



りえ  
佐藤 理恵さん  
(藤沢町藤沢)

私はケアマネジャーの仕事に就いてまだ日が浅いですが、利用者にとって介護サービスが楽しみと生活の一部になっていると感じています。その中で日々感じることは、受診が必要にも関わらず自己判断でやめてしまった方、介護サービスが必要と思われるのに重度化していかずサービスを利用しない方等々、さまざまな問題点が目に付きます。地域の方々の声、医療との連携をより一層深めていければ、少しずつ解決していけると感じています。

## ●平成29年度会派等における行政視察・研修の内容（後期：11月～3月分）

交付対象の会派又は議員名	年月日	参加者数	場所	内容
一関市議会 公明党	H29.12.2	1	アズテックミュージアム仙台産業展示館	一関市も出展した新・農業人フェアの地方相談会に参加し、全国各地の取り組みや就農希望者等のニーズ調査を行った。
日本共産党 一関市議員	H29.11.11	1	松園地区公民館ホール(盛岡市)	ごみ処理を考える学習会
	H29.11.26	2	松島センチュリーホテル	・日米FTA、日欧EPA、TPP11による影響と阻止に向けた展望について ・総選挙後の農業情勢と農民運動について ・種子法廃止と今後の育種について
	H30.1.6	1	金ヶ崎町立金ヶ崎中学校	・子どもの教育費・助成制度、教育費の保護者負担軽減について ・いじめ・自死問題の背景を考える
	H30.2.1 H30.2.2	2	東京都日野市富士電機能力開発センター	第31回議員の学校
一政会	H30.2.12	1	岩手県公会堂	岩手県社会保障学校第3回講座
	H30.1.23 H30.1.25	9	兵庫県たつの市 兵庫県小野市 大阪府大東市	播磨科学公園都市について 行政経営について 子ども・子育て支援事業について
	H30.1.31 H30.2.2	3	鹿児島県霧島市 鹿児島県志布志市 鹿児島県曾於市	移住定住対策 焼却しないでごみの資源化推進 ふるさと納税及び観光対策
清和会	H30.1.30 H30.2.1	8	沖縄県恩納村 沖縄科学技術大学院大学 沖縄工業高等専門学校	沖縄科学技術大学院大学開学への取り組みについて 沖縄科学技術大学院大学開学への取り組みについて 衝撃波破砕技術を活用した装置による漆の量産化について

※視察報告書は市ホームページに掲載しております。

## 市政調査会

会長 千葉 大作

5月11日、午前9時から一関農村整備センター所長の鈴木満氏を講師として平泉及び一関管内における農業、農村整備事業の現状と課題について講演をいただきました。また、当市の建設部長の那須勇氏からは、一関市における岩手県の社会資本整備事業について講演をいただきました。鈴木氏は平成22年から平成24年までの3年間の農業・農村整備の予算は、平成21年度と比較して3分の1に低下したが、平成25年以降になって予算がふえていることを示され、また平成27年の一関市における基盤整備率は41%、岩手県の整備率は51・6%、東北管内は66・1%という、私共にあまりの低さに驚きをもって周知されましたが、現在当市において基盤整備を行っている地域が11箇所、調査を待っている地域が9箇所あり、これら20箇所におけるそれぞれの地域の予算づけがなされ、当市の基盤整備率が岩手県のそれに近づく事を願うものであります。また一関市にお



一関農村整備センター所長の講演

る岩手県の社会資本整備事業については、那須建設部長は課題を明確にして進めて参ると県は述べているということでしたが、当市が要望しております国道343号の新笹ノ田トンネルの早期着手について、市は9万人を超える署名簿を集めて、国・県に要望しており、I L C 誘致を見据えて、県が着手されるよう、願うものであります。

## 議員表彰

当市の議員2名が全国市議会議長会より表彰を受けました。表彰状は、6月の市議会定例会本会議において議長から伝達されました。



千葉 大作  
議員



佐藤 雅子  
議員

●議員15年以上

●議長4年以上

※表彰規定により合併前の旧町村議員の在職年数はそれぞれ2分の1の市議会議員としての年数に通算するため、実際の在職年数とは異なっております。

## ● 議会を傍聴しませんか ●

- 9月定例会は8月下旬に開会予定です。詳しい日程などは議会事務局へお問い合わせください。
- 傍聴席は60席です。車椅子での傍聴、聴覚補助のためのヘッドフォンも用意しております。
- 定例会の様子は下記の媒体でもご覧いただけます。  
【生中継】一関ケーブルテレビ、市ホームページ  
【録画】市ホームページ  
【録音】FMあすも（一般質問のみ）

6月定例会の傍聴者数 98人

スマートフォンやタブレット  
端末でもご覧いただけるよう  
になりました。



## ● ご意見・ご感想をお寄せください ●

議会だよりを読んで感じたことや、議会についてのご意見などをお待ちしています。  
議会だよりは市のホームページでご覧いただくこともできます。

〒021-8501 一関市竹山町7番2号 議会事務局 (TEL 21-8604 / FAX 26-5556)  
議会メールアドレス gikai@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市議会 検索



あんなとこい。  
こんなとこい



## 芭蕉が歩いた一関の道

俳聖とも日本史上最高の俳諧師の一人とも呼ばれる松尾芭蕉。その芭蕉が一関に来たのは、磐井橋の地主町側の看板を見ると、元禄2(1689)年5月12日に一泊。翌日平泉に行き、帰りに再び一関に寄り一泊している。来る時は花泉を経て関が丘〜大町〜と歩く。帰りは台町祥雲寺下の迫街道〜宮城県〜山形県へと進んでいる。もっと俳句が盛んになってもいいと思うが。

### 【表紙解説】

7月2日、川崎保育園では今年初めて、待ちに待ったプールでの水遊びを行いました。今年は年長さんにとつて最後の水遊びです。先生から水に入るときに注意することについて説明があり、みんな熱心に聞いていました。

その後二重の円に手をつなぎ、水慣れのため肩まで沈んだり立ったりしました。みんな水慣れができたようです。

水鉄砲で遊んだり、あつたかいプールと水のプールとを行ったり来たりしていました。

あまりの楽しさに水から上がりたくない子供たちがたくさんいました。

一関市議会では平成30年7月豪雨被害に対し、全国市議会議長会を通じて、義援金をお送りしました。

### あとがき

昨年から新しい議会報編集委員会がスタートした。今回の編集委員8人中4人は初当選された議員。つい数カ月前までの読者が、今度は作り手の委員。読み手側の感覚を持ち合わせているので、その感覚を活かす。よき編集を目指したいと思っています。

編集委員 那須茂一郎



### 議会報編集委員

委員長 千葉信吉  
副委員長 小岩寿一  
委員 岩淵典仁  
委員 那須茂一郎  
委員 門馬功一  
委員 佐々木久助  
委員 佐藤敬一郎  
委員 菅野恒信

印刷／トーパン印刷株



発行／岩手県一関市議会  
電話／0191-21-8604

住所／一関市竹山町7番2号 編集／一関市議会報編集特別委員会  
FAX／0191-26-5556 E-mail:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp